

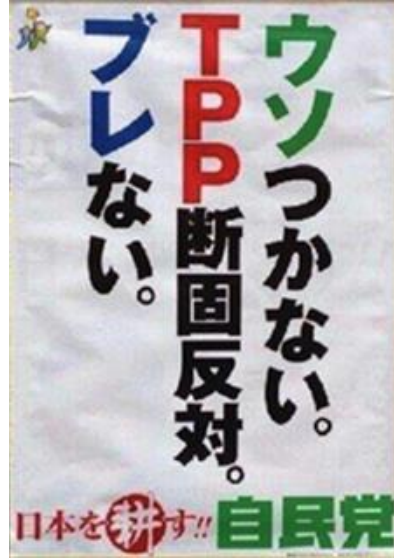
戦争させない!11・19集会

■11月19日(土)13:30~集会
※終了後、デモ
■上千歳広場(トイゴP隣)

戦争する国にさせない 12・11ながの市民のつどい

■12月11日(日)13:30(予定)~
■若里市民文化ホール
■内容:講演=伊藤千尋さん(元朝日新聞記者)
リレートーク市民の願い
連帯のあいさつ他

右は、2012年衆院選の自民党ポスターです

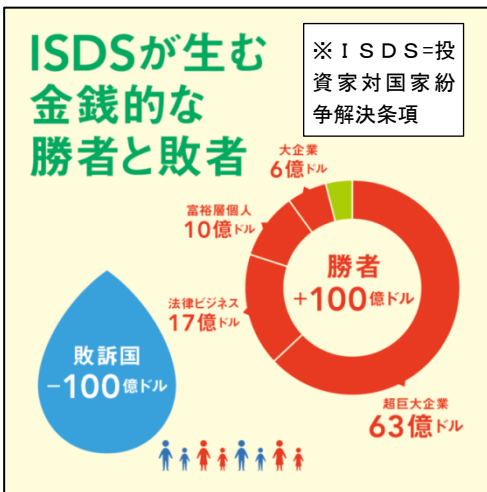


TPP強行採決に抗議する

農相辞任・徹底審議・廃案を

◆11月4日午後、衆院TPP特別委員会で、自民・公明・維新3党はTPP承認案・関連法案を強行採決しました。与党は、会期を延長してでも国会での成立をねらっています。まだ審議も十分尽くされていない法案を、数の力で押し切る暴挙は、断じて許されるものではありません。◆TPP承認案の今臨時国会における審議では、政府訳に18か所もの誤訳があることが判明しました。また、輸入米のSBS(売買同時入札制度)制度の悪用疑惑が明らかになり、野党の資料請求に対し政府・与党は「交渉過程は開示し

ない」と拒みつけました。さらに、政府や与党の中から早い段階で何度も強行採決発言が飛び出し、特別委員長の権での強引な委員会開催が度重なったことなど、異常な雰囲気の中で進行しました。「審議が深まった」とはとてもしえませんが、山本大臣の度重なる暴言であり、このような状況下で採決が許されるはずはありません。山本大



左:続そつだったのかTPP24のギモンより

臣は即刻辞任し、審議をやり直すべきです。◆世論は、66.5%が慎重審議を求めています。国会で徹底審議を行い、日本の主権を売り渡すTPP承認案と関連法案を廃案にすべきです。

南スーダン派兵NO! 自衛隊員を戦地に送るな

「働き方」アンケートに実態・願いギッシリ No.6 11/4 現在、837 人分集約

■問 5 あなたが(あなたや仲間の「働き方」で、「もしかしたらブラック?」と感じていることなど。

- ・昼休みが取れない。ほぼ毎日残業。家での授業準備。つかれました
- ・部活動がほとんどボランティア(朝早い、夜遅い、休日が無い)
- ・クラブ活動が教員のボランティアで支えられていること。審判資格など自己負担で取得させられること
- ・超勤手当が無い。勤務時間は、毎日7時 or 8時は当たり前。土日が無い。人権と言うけれど、一般企業と比べると割安ではないですか?
- ・準備や片付け、構想を練る時間ももっと欲しい
- ・勤務内容が明確ではなく、やればいいしやらなくてもよい。「子どもたちのために」の言葉で献身的な勤務に支えられていると思います。早く帰宅するように管理職は言うが、終わらず結局持ち帰り仕事になってしまう

■問 6 「働き方改革」で、政府に一番望むこと。

- ・労働政策、働くルールすべてを、大企業本位に作り直すのはやめて下さい
- ・非正規労働者に対する待遇の改善、また基本給アップのための対策
- ・おかしい政策ばかり考えないで、もっと日本国民が安心して生活できる環境を作っていないとダメ。特に医療は命の要です。医療(費)にだけは介入してほしい
- ・年収による税金の改革を望む
- ・子育てしやすい職場環境。賃金アップ
- ・働く人がどの職場に行っても不公平感のないようにできたらいいですね

- ・最低賃金アップ
- ・ベースアップです

■8時間きっちり仕事が終わったら、何に時間を使いたいですか?

- ・家族と過ごす時間を増やしたい
- ・家族と過ごす時間が増える。自分の時間も作れる
- ・家族サービス・趣味に使いたい
- ・生活の質が変わると思います
- ・子どもと一緒に過ごす
- ・プライベートの充実、自分の時間を大切にしたい
- ・自分の時間、家族との時間に使いたい
- ・習い事をしたり、スポーツジムに通ったりプライベートを充実させたい
- ・ゆっくり過ごす・私生活を充実させたい
- ・休みたい・趣味・育児、趣味
- ・少しでも多くねむりたい

※今後も、引き続き掲載していきます。

「年金カット法案」質疑強行

11月4日、衆院厚生労働委員会で野党が反対する中、自民、公明、維新の3党が「年金カット法案」の質疑を強行しました。

現行では、現役世代の賃金が下落しても物価が上昇すれば支給額を据え置き、デフレ下で賃金が物価より下落すれば物価に合わせていました。しかし、法案では、どちらでも賃金に合わせるため年金額がさらに減ります。年金生活者の命と暮らしを追い詰める年金法改悪は、廃案にすべきです。

加盟組合紹介

賛育会豊野労働組合

★今後も新賃金制度の問題を追及し、正常な労使関係に

賛育会豊野労働組合
副執行委員長 宮下森光

また、秋闘では一時金アップや職員の大幅増員による年次有給休暇の完全取得を要求し交渉していきます。要求実現に向けてより多くの仲間を増やし、安全・安心な医療・福祉の実現を目指します。

賛育会豊野労働組合は、社会福祉法人賛育会の医療・福祉の分野で働く仲間と構成されている組合です。私たちは新賃金制度(職能給)の撤回を目指してこれまで奮闘してきました。労働委員会、裁判闘争とたたかってきたことにより、法人に未払い賃金の支払いをさせたり、裁判で指摘された問題点が制度改定に反映されたりするなど、ねばり強くたたかい続けられた成果が多くありました。今後も制度の問題点を追及しながら正常な労使関係の構築をめざしていく必要があります。